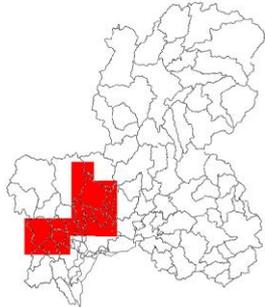


ホソバナアマナ	<i>Lloydia triflora</i> (Ledeb.) Baker	絶滅危惧 I 類
		ユリ科
選定理由	岐阜県では生育地が極めて限定されていて、個体数も少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	根出葉は1枚、線形、長さ約15cm、幅2-3mm。花茎は高さ15-20cm、線形で長さ3-5cm、幅3-6mmの葉を2枚ほど間隔を置いてつけ、上部に2-4(-5)個の花を複散房状につける。花被片は倒披針形、長さ12-14mm、白色、外面の脈沿いは緑色、内面基部は黄緑色。	
生態的特徴	林縁や草地に生育する。花期は5-6月。	
分布状況	東アジア北部と北アメリカに分布し、日本では北海道から九州までである。岐阜県では県南の中部と西部の標高1000-1300mに見られる。	
減少要因	採取圧と生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項	小型の植物で花がないと分かりにくいので、生育地の現状改変には細心の注意が必要。	
参考文献		

文責: 高橋弘